

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成24年1月5日 (2012.1.5)

【公開番号】特開2010-194160(P2010-194160A)
 【公開日】平成22年9月9日 (2010.9.9)
 【年通号数】公開・登録公報2010-036
 【出願番号】特願2009-43989(P2009-43989)
 【国際特許分類】

A 6 1 B 3/14 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 3/14 A

【手続補正書】

【提出日】平成23年11月11日 (2011.11.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

略青色光を発する複数の L E D 素子と、該複数の L E D 素子を覆い且つ該複数の L E D 素子の間に充填され、該複数の L E D 素子からの光により励起されて蛍光を発する蛍光物質とから構成され、被検眼に可視光を照明する照明手段と、
前記被検眼からの戻り光に基づいて該被検眼を撮像する撮像手段と、
を有することを特徴とする眼科撮影装置。

【請求項 2】

前記複数の L E D 素子それぞれは、青色光と該青色光より短波長の光とのうち少なくとも一方を発することを特徴とする請求項 1 に記載の眼科撮影装置。

【請求項 3】

前記複数の L E D 素子は、複数の青色発光 L E D 素子であり、
前記照明手段は、前記複数の青色発光 L E D 素子の間に設けられた近赤外光を発する複数の赤外発光 L E D 素子を有することを特徴とする請求項 1 あるいは 2 に記載の眼科撮影装置。

【請求項 4】

前記蛍光物質は、前記複数の赤外発光 L E D 素子を覆い、
前記複数の赤外発光 L E D からの近赤外光は、前記蛍光物質を透過して前記被検眼に照明されることを特徴とする請求項 3 に記載の眼科撮影装置。

【請求項 5】

前記照明手段は、発光方向と反対側に放熱のための放熱手段を有することを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の眼科撮影装置。

【請求項 6】

前記複数の L E D 素子の光量を独立して制御する光量制御手段を有することを特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれか 1 項に記載の眼科撮影装置。

【請求項 7】

前記光量制御手段は、前記複数の L E D 素子の光量のばらつきを補正するように該複数の L E D 素子の光量を独立して制御することを特徴とする請求項 6 に記載の眼科撮影装置

。

【請求項 8】

前記複数のＬＥＤ素子は、略リング状に且つ離散的に配置されることを特徴とする請求項１乃至７のいずれか１項に記載の眼科撮影装置。